

# 健康ニュース

## 胃がん検診とピロリ菌

埴科地域包括医療協議会

事務局 千曲市桜堂570-1  
千曲医師会内  
TEL 026-272-3011  
監修 千曲医師会

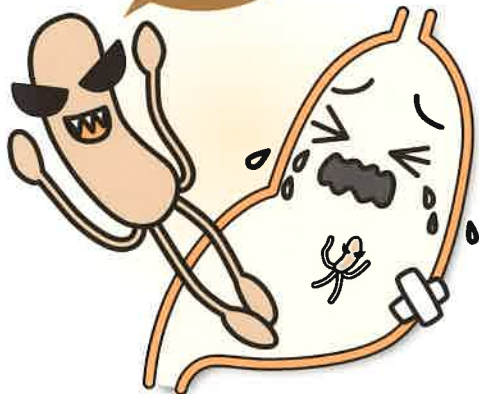
### 胃がんの検診が新しくなります

最近、胃がん検診に新しい流れができつつあります。従来胃がん検診というと、胃検診専用の大型バスの中でバリウムを飲んでX線検診がほとんどでした。しかし厚生労働省は、平成28年度から胃カメラ(胃内視鏡)による検診もX線検診と同様に有効なものと位置づけ、市町村がどちらかの検診を選択できるようになりました。すでに県内の一部市町村で胃内視鏡による検診が行われ、千曲・坂城地域においても内視鏡による胃検診実施に向けて検討が始まっています。



胃カメラ

### ピロリ菌



### ピロリ菌と胃がんとの関係

近年様々な世界的な研究の結果、胃がんの主因はピロリ菌感染が原因である事がわかってきました。言い換えると、胃がんの予防にはピロリ菌の除菌が大切であり、ピロリ菌除菌により胃がん発生を抑制できると考えられています。そのような流れのなか、10年ほど前より「胃がんリスク検診(ABC検診)」が一部の市町村などで始まりました。血液検査によってピロリ菌の感染の有無と胃炎の有無を調べ、胃がんのリスクを判定できる「ABC検診」について、今後検討が進むことが期待されます。

### 若年者のピロリ菌検診と除菌

現在わが国では、ピロリ菌の主な感染時期は乳幼児期であり、感染経路は家族内感染が主だと考えられています。また、胃がんの発生はピロリ菌感染の早い時期、特に若年者で除菌を行えば、ほとんど抑えられると考えられています。さらにこの時期に除菌を行えば、次世代への感染も未然に防ぐことができると言われています。今後若年者に対するピロリ菌検査の導入に向け検討が進むことを期待しています。

